

座標: 北緯39度42分49秒 東経140度38分4.8秒

ウィキペディア

漢槎宮

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

漢槎宮（かんさぐう）は、秋田県仙北市西木町西明寺の田沢湖畔にある神社。

湖に張り出す形になっている小さな神社で、流れ着いた大木の浮木（流木）を祀ったので別名を浮木神社という。また、鵜尻明神とも呼ばれ、明和6年（1769年）秋田藩士で俳人で漢学者の益戸滄洲によって漢槎宮と命名された。よって田沢湖を漢槎湖または槎湖と呼ぶようになった。すぐ近くにたつ子像がある。

拝殿正面の扁額は、滄洲が田沢湖を遊覧した折に船頭をした少年齊藤千太郎に書き与えたもの。

参考文献

- 神社案内板（観光協会）
- 仙北市公式HP観光情報

外部リンク

- 田沢湖エリア 漢槎宮（浮木神社）（http://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/04_ukigi.html）

漢槎宮



所在地

秋田県仙北市西木町西明寺

位置

北緯39度42分49秒
東経140度38分4.8秒

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=漢槎宮&oldid=68924832」から取得

最終更新 2018年6月17日（日）08:30（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。